

オキサリプラチンベース化学療法中の高齢大腸がん患者に対する運動療法早期介入の効果に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センターリハビリテーション科では「オキサリプラチンベース化学療法中の高齢大腸がん患者に対する運動療法早期介入の効果」を行うことになりました。この研究の目的は、薬物療法を受ける高齢大腸がんの患者さんの治療遵守結果を調べて、運動療法がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2019年1月1日より2024年12月31日までに治療した方の診療録、検査データ等の調査を行います。対象となるのは外来通院治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（治療開始後3か月間の化学療法実施状況、オキサリプラチン総投与量、副作用など）です。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年5月

研究責任者

東京医療センター リハビリテーション科

武中基泰

連絡先 03-3411-0111(代表)